

一般教育訓練明示書（平成30年度版）

講座の名称	実務者研修95時間(訪問介護員養成研修(ヘルパー)1級修了者対象)													
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)													
指定講座番号	6	3	3	7	5	—	1	7	1	0	0	1	—	0
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間				過去一年の講座実績	入講者数(累積) (2人)			修了者数 (2人)					
平成29年 4月 1日	平成32年 3月 31日まで													
訓練期間	5か月					総訓練時間			時間					
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル					実務者研修									
②①に係る資格・試験等の実施機関名称					厚生労働省									
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等					訪問介護員養成研修(ヘルパー)1級課程修了者であり、かつセンターが研修の受講者と認めた者。									
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況					介護福祉士国家試験の受験要件の一つとして「実務者研修」修了が義務づけられている。訪問介護員養成研修(ヘルパー)1級課程修了者の資格保持者は当コース修了と併せて実務者研修修了となる。									
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)					時間			使用教材名						
介護過程Ⅲ					45時間			中央法規出版株式会社						
医療的ケア(座学)					50時間			「介護福祉士実務者研修テキスト」						
上記 合計					95時間			第3巻 介護Ⅱ						
								第5巻 医療的ケア						
〈医療的ケア演習〉														
たん吸引:口腔、鼻腔、気管カニューレ 各5回以上														
経管栄養:胃ろう又は腸ろう、経鼻経管栄養 各5回以上														
救急蘇生法:1回以上														
医療的ケア演習(一人当たりの標準時間) 合計					2時間									
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等					特になし									
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準					訪問介護員養成研修(ヘルパー)1級課程修了程度									
③その他														

一般教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 昨年度内の受講修了者数	2	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	2	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	2	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	2	人			

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	2	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	2	人	②A: 就業者計	2人
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業		人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	1	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	2人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ	1	人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果		人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 希望の職種・業界で就職できる		人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	1	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	2人
	2 おおむね満足	1	人		
	3 どちらとも言えない		人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	介護過程Ⅲ: 定められた座学を受講し、成果物を提出することで理解度を図る。実技については実技評価試験を実施する。 医療的ケア: 定められた講義受講後、修了評価試験(筆記試験)を行う。修了評価試験で総得点9割以上を合格とし、合格者には演習評価を実施する。演習については、原則として「喀痰吸引等研修実施要項」に基づき、受講者が喀痰吸引等を安全に実施するための技能を習得しているかを講師が評価する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	実施場所: 介護労働安定センター 各支部(所) 講義室、実技演習室 実施期間: 平成29年4月1日以降 期 間: 5か月 時 間: 座学95時間、演習評価(標準2時間)

6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

介護過程Ⅲ: 定められた座学を受講し、成果物を提出することで理解度を図る。実技については実技評価試験を実施する。
医療的ケア: 定められた講義受講後、修了評価試験(筆記試験)を行う。修了評価試験で総得点9割以上を合格とし、合格者には演習評価を実施する。演習については、原則として「喀痰吸引等研修実施要項」に基づき、受講者が喀痰吸引等を安全に実施するための技能を習得しているかを講師が評価する。規定の講義の受講、修了評価試験合格、演習評価合格をもって医療的ケア合格となり、介護過程Ⅱ及び医療的ケアの合格をもって、研修の終了日に修了を認定する。

一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	修了評価試験や演習評価によって、知識や技能のレベルの到達度の把握を行う。なお、合格や修了レベルに対する未到達者については、講師が弱点補強の指導を行う。また、質問・質問票は随時受け付ける。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	就職を希望する受講者については、ハローワーク、福祉人材センター等と連携し、求人情報を把握し、必要に応じて情報提供を行う。		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	公益財団法人 介護労働安定センター	(代表者名： 久志 実)	
住所及び連絡先	東京都荒川区荒川7-50-9 センターまちや5階	TEL 03-5901-3041(代表)	
施設名称及び施設長名	介護労働安定センター	(施設長： 久志 実)	
住所及び連絡先	東京都荒川区荒川7-50-9 センターまちや5階	TEL 03-5901-3041(代表)	
給付制度担当部署・者	業務部能力開発課	(担当者： 佐藤 翠)	
連絡先	TEL 050-3535-9522(直通)		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		100,000 円
支払い方法			
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		0 円
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	(うち、必須教材費	100,000 円)
③ 両方可能	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		5,160 円
	① 副読本代(税込額)		5,160 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円
	③ 施設維持費(税込額)		円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		円
	3. 総額 (1+2) (税込額)		105,160 円

[特記事項]

--